

平成20年  
第3回定例会

## 市長提出議案12件を可決

人事案件4件同意・決算8件継続審査



Iのまち いなぎ市民祭

### 第三回定例会の概要

市議会は、平成二十年第三回定例会を九月一日から九月二十二日までの二十二日間にわたって開催しました。

この定例会では、稲城市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例、稲城市職員の公益法人への派遣に関する条例の一部を改正する条例、稲城市市税条例の一部を改正する条例、多摩都市計画事業稲城百村土地区画整理事業施行規程を廃止する条例、稲城市道路線の認定について、平成二十年度東京都稲城市一般会計補正予算、稲城市教育委員会委員の任命など二十四件の議案と議員から提出された二件の議案を審議し十四件を原案のとおり可決し四件に同意しました。決算八件は、継続審査としました。市民から提出された陳情二件は、いずれも採択といたしました。

また、四日から四日間にわたり十八人の議員が市政について六十七項目の一般質問を行いました。

### 議会日誌

7月	8月	9月	10月
14日 総務委員会	1日 福祉文教委員会	1日 第三回定例会	1日 建設環境委員会
23日 建設環境委員会	6日 建設環境委員会	3日 議会運営委員会	6日 議会運営委員会
25日 議会運営委員会	8日 建設環境委員会	3日 議案質疑付託、採決、所管事務調査報告、陳情付託	8日 決算特別委員会
31日 総務委員会	18日 福祉文教委員会	4日 代表者会議	9日 決算特別委員会
	20日 代表者会議	5日 議会運営委員会	10日 決算特別委員会
	21日 議会運営委員会	8日 一般質問	16日 代表者会議
	25日 総務委員会	9日 一般質問	17日 建設環境委員会
		4日 代表者会議	20日 総務委員会視察
		5日 議会運営委員会	21日 総務委員会視察
		8日 一般質問	22日 総務委員会視察
		9日 本会議	
		9日 一般質問	

紙面の紹介

- ・定例会の議案内容・・・2P
- ・常任・特別委員会の審査状況・・・3P
- ・一般質問（18人）・・・4P～5P
- ・議案議決結果（会派別、議員別）、陳情の結果、視察調査報告・・・6P

# 条例制定及び一部改正

## 長期継続契約を定める条例を制定

市議会は、稲城市長期継続契約を締結することができ、長期継続契約を締結することができる契約を定める条例を、九月二十二日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

長期継続契約を締結することができる契約は、事務用機器、情報処理機器、医療機器、プレハブ建物その他の物品の借入に関する契約で、商慣習上複数年にわたり契約を締結することが適当と認められるもの

## 市税条例の一部を改正

市議会は、稲城市市税条例の一部改正を、九月二十二日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

今回の改正は、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、平成二十年四月三十日付けで専決処分をした事項以外のものについて、条例を改正するものです。

今回の主な改正点は、公的年金などに係る個人の市民税について、普通徴収として年四回徴収しているものを平成二十一年十月からは、六十五歳以上の公的年金などの受給者について公

## 百村土地区画整理事業施行規程を廃止

市議会は、多摩都市計画事業稲城百村土地区画整理事業施行規程を廃止する条例を、九月二十二日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

## 一般会計ほか補正予算

市議会は、一般会計ほか補正予算について、九月二十二日の本会議で審議し原案のとおり可決しました。

### 一般会計補正予算

今回の補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ一億六千四百五十七万七千円を追加し、予算総額を二百六十五億七千六百八十一万八千円とするものです。

補正の主な内容は、年金特別徴収に係る情報伝達システムに関する経費の計上、システム改修などの実施に伴う後期高齢者医療特別会計繰入金の増額、東京都認定こども園運営費等補助金を導入した認定こども園運営費等補助金の計上、第一

### 土地区画整理事業特別会計補正予算

今回の補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ四億四千五百七十八万八千円を追加し、予算総額を二十九億九千二百三十万六千円とするものです。

補正のうち、稲城榎戸地区事業費については、建物二棟の移転に伴い建物移転補償費を増額するものです。財源は、繰越金を増額し、

### 介護保険特別会計補正予算

今回の補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ一億六千五百三十九万九千円を追加し、予算総額を三十億八千八百五十六万六千円とするもので、平成十九年度の介護給

### 後期高齢者医療特別会計補正予算

今回の補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ百三十七万五千円を追加し、予算総額を七億五千七百五十万円とするもので、東京

### 病院事業会計補正予算

今回の補正予算は、市立病院新駐車場整備運営事業を進めるに当たり、十二月に予定する事業契約の締結に予算措置が必要となるため、地方自治法第二百四十四条の規定により債務負担行為を定めるものです。

債務負担行為の期間は平成二十年度から平成三十六年度までで、限度額は十六億四千三百二十九万七千円です。

本事業を実施する事業者については、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第七十一条の規定により公募し、地方自治法施行令第六十七条の十の二第一項及び第二項の規定により総合評価一般競争入札の方法で選定することを予定するものです。

なお、各補正予算は、補正予算特別委員会を設置し、これに付託して、詳細に審査しております。

及び繰越金を増額し、補正財源とします。

審査委員会の増田尚氏、稲葉勝巳氏、軍司信一氏が平成二十年十月四日付けで任期満了になるため、引き続き増田氏と稲葉氏を、また新たに岩藤真実氏を選任することに九月三日の本会議で同意しました。

## 道路線を認定

市議会は、稲城市道路線の認定について、九月二十二日の本会議で審議し、原案のとおり認定しました。

今回の認定は、多摩ニュータウン区域内に整備され、市に移管される道路二十五路線について、道路法第八十一条の規定により稲城市道路線を認定するものです。

認定した路線は、稲城市立第五中学校東側の向陽台二丁目地内の市道向陽台第九百六十八号線から市道向陽台第九百八十三号線までの十六路線、向陽台一丁目地内から南多摩尾根幹線に接続する自転車歩行者専用道路である市道向陽台第九百八十四号線及び市道向陽台第九百八十五号線の二路線及び稲城市総合体育館南側に隣接する長峰一丁目地内の市道長峰第九百八十六号線から市道長峰第九百九十二号線までの七路線の合計二十五路線です。

### 教育委員会委員に

中田 中氏

市議会は、教育委員会委員の安江元治氏が平成二十年九月三十日付けで任期満了になるため、新たに中田中氏を任命することに九月三日の本会議で同意しました。

### 固定資産評価審査委員会委員に

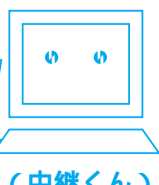
増田 尚氏  
稲葉勝巳氏  
岩藤真実氏

市議会は、固定資産評価

審査委員会の増田尚氏、稲葉勝巳氏、軍司信一氏が平成二十年十月四日付けで任期満了になるため、引き続き増田氏と稲葉氏を、また新たに岩藤真実氏を選任することに九月三日の本会議で同意しました。

## お知らせ

### 市議会本会議の生中継をインターネットでご覧いただけます



今回は、平成二十年第四回定例会で平成二十一年十一月一日(月)からご覧いただける予定です。

ホームページアドレス  
<http://www.inagi.city.stream.jit.co.jp/>

### 議会交際費を公開しました

市議会では、より開かれた議会を目指し、市議会ホームページに、議会交際費の平成二十年四月分からの支出状況を掲載しました。ホームページアドレス  
[http://www.city.inagi.tokyo.jp/gikai/gikai\\_kousahi/index.html](http://www.city.inagi.tokyo.jp/gikai/gikai_kousahi/index.html)

街地開発事業の一つとして昭和五十一年に八王子市に設置され、八王子市、町田市、多摩市及び稲城市の四市で運営している八王子市南多摩都市公園の未使用地の造成に伴い、墓地使用区画が追加配分されることから、当該区画を稲城市民が使用できるようにするためのものです。

新設区画総数の六百十六区画のうち、稲城市分は四区画で、内訳は三平米区画が二十七区画、五平米区画が十三区画です。

# 委員会の審査から

平成二十年第二回定例会終了後から第三回定例会までの閉会中及び会期中に開催した常任・議会運営・特別委員会での審査・調査の概要は次のとおりです。

## 総務委員会

議案三件を審査しました。  
稲城市長期継続契約を締結することが出来る契約を定める条例は、六件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 庁舎管理は総合委託で、全体として長期契約するの。一年で変わる部分もあり、今後は個別に契約するの。一括契約なので、単価が下がるかと記憶しているが、そうでない部分も出てくるのか。

答 庁舎・文化センター・病院は総合管理委託となっている。今、庁舎の電話についても入っているが、できれば切り離し、電話交換

問 財団法人が公益法人へ移行するまでの間の市の手順と期間は。また、どちらかの法人を選ぶ場合のメリット、デメリットは。

答 十二月改正で、五年間の暫定措置がある。ウエ

## 福祉文教委員会

陳情一件を審査しました。  
在日外国人の無年金高齢者及び無年金障害者に対する救済処置に関する陳情については、六件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 無年金者の方たちへの基本的な考え方や、今までの対策は。特別給付金制度を創設する考えは。市内の対象者数は。

答 無年金対策、無年金者への救済措置は、国が全

## 建設環境委員会

議案三件を審査しました。  
多摩都市計画事業稲城百村土地区画整理事業施行規程を廃止する条例は、三件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 区画整理事業で行うと決めた目的と廃止に至った経過は。今までに負担した事業費はいくらか。この財政的負担は今後どうなるのか。今後のまちづくりの進め方は。

答 多摩ニュータウン事業区域に隣接する区域として遜色がないまちづくりを進めるため、地元の要望もあり、三沢川改修と鶴川街道拡幅を柱とし、生活道路も含めた基盤整備をメインとして立ち上げたが、鶴川街道整備のための地権者の合意が得られず、国から補

助金打ち切りの話もあり、地元を含めて調整して、見直しはやむをえないとの結論に至った。  
平成五年から平成十六年までに行った設計・調査の総額は四億二千六百万円。うち一般財源が二億二千九百万円。地質調査や測量等は、将来のまちづくり全般に活用できる調査資料であり、補助金などを無駄にしないようにとの国の指導もあった。  
市に責務があり、既に都市計画決定もして、全体的なまちづくりの方針も決定しており、今後できるだけ早く整備できるように進めていきたい。

稲城市道路線の認定については、五件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

八王子市の公の施設の使用に関する協議については、二件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

議案五件を審査しました。  
東京都稲城市一般会計補正予算(第二号)は、十五件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 第一保育園の民営化と建てかえについての説明経過と今後の予定は。

答 子供のことを最優先に考えて、保護者の意見を十分聞きながら説明している。今年度は、月一回、資料を事前配付し、質疑応答を中心に、預かり保育を行う、保護者が参加しやすい日時を選んで、ガイドライン、選定基準の基本的考え方もとらえる素案の説明を行っている。

平成二十年東京都市圏市介護保険特別会計補正予算(第一号)については、質疑・討論がなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

平成二十年東京都市圏市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)は、二

件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
問 広域連合対応システム保守委託、百三十六万五千円を今回、補正計上する理由と目的は。  
答 東京都の広域連合で条例改正などを行って、保険料の独自軽減策が決定したことに伴うシステム改修で、当初予算額では不足するため補正計上する。目的は、広域連合のシステムとの取り込みの調整をするため。討論はなく、採決の結果、挙手全員により原案のとおり可決されました。

平成二十年東京都市圏市病院事業会計補正予算(第一号)は、一件の質疑がありました。  
問 新駐車場整備運営事業は、有料化しないで従来どおりの形とすると、このPFIにする必要性があるのか。  
答 今回の駐車場が五階建ての非常に大規模な駐車場を予定していることから、解体から設計・建築・維持管理・運営までと包括的なものを全部一括してゆだねコストの削減を図るためPFI手法とした。  
有料化は、第三次行政改革大綱で受益者負担がうたわれており、有料化に踏み切った。  
討論は反対が一件あり、PFI事業は、チェックしにくいなどの問題点もある。本当にこの金額で経費が削減できるのか、有料化の問題についても、駐車料金が市民の負担となると思うので、今回の補正予算については、反対する。  
採決の結果、挙手多数で原案のとおり可決されました。

建設環境委員会  
議案三件を審査しました。  
多摩都市計画事業稲城百村土地区画整理事業施行規程を廃止する条例は、三件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
問 区画整理事業で行うと決めた目的と廃止に至った経過は。今までに負担した事業費はいくらか。この財政的負担は今後どうなるのか。今後のまちづくりの進め方は。  
答 多摩ニュータウン事業区域に隣接する区域として遜色がないまちづくりを進めるため、地元の要望もあり、三沢川改修と鶴川街道拡幅を柱とし、生活道路も含めた基盤整備をメインとして立ち上げたが、鶴川街道整備のための地権者の合意が得られず、国から補助金打ち切りの話もあり、地元を含めて調整して、見直しはやむをえないとの結論に至った。  
平成五年から平成十六年までに行った設計・調査の総額は四億二千六百万円。うち一般財源が二億二千九百万円。地質調査や測量等は、将来のまちづくり全般に活用できる調査資料であり、補助金などを無駄にしないようにとの国の指導もあった。  
市に責務があり、既に都市計画決定もして、全体的なまちづくりの方針も決定しており、今後できるだけ早く整備できるように進めていきたい。

稲城市道路線の認定については、五件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

八王子市の公の施設の使用に関する協議については、二件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

議案五件を審査しました。  
東京都稲城市一般会計補正予算(第二号)は、十五件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
問 第一保育園の民営化と建てかえについての説明経過と今後の予定は。  
答 子供のことを最優先に考えて、保護者の意見を十分聞きながら説明している。今年度は、月一回、資料を事前配付し、質疑応答を中心に、預かり保育を行う、保護者が参加しやすい日時を選んで、ガイドライン、選定基準の基本的考え方もとらえる素案の説明を行っている。

平成二十年東京都市圏市介護保険特別会計補正予算(第一号)については、質疑・討論がなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

平成二十年東京都市圏市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)は、二

件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
問 広域連合対応システム保守委託、百三十六万五千円を今回、補正計上する理由と目的は。  
答 東京都の広域連合で条例改正などを行って、保険料の独自軽減策が決定したことに伴うシステム改修で、当初予算額では不足するため補正計上する。目的は、広域連合のシステムとの取り込みの調整をするため。討論はなく、採決の結果、挙手全員により原案のとおり可決されました。

平成二十年東京都市圏市病院事業会計補正予算(第一号)は、一件の質疑がありました。  
問 新駐車場整備運営事業は、有料化しないで従来どおりの形とすると、このPFIにする必要性があるのか。  
答 今回の駐車場が五階建ての非常に大規模な駐車場を予定していることから、解体から設計・建築・維持管理・運営までと包括的なものを全部一括してゆだねコストの削減を図るためPFI手法とした。  
有料化は、第三次行政改革大綱で受益者負担がうたわれており、有料化に踏み切った。  
討論は反対が一件あり、PFI事業は、チェックしにくいなどの問題点もある。本当にこの金額で経費が削減できるのか、有料化の問題についても、駐車料金が市民の負担となると思うので、今回の補正予算については、反対する。  
採決の結果、挙手多数で原案のとおり可決されました。

# めざし一般質問

本定例会の九月四日から四日間には、十八人の議員が市政について六十七項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、一人一項目のみ掲載しています。

**仕事と生活の調和の推進に**  
向けて  
梶浦議員

**問** 仕事と生活の調和の推進に向けての今後の施策について、市の見解は。

**答** 国の推し進める「ワーク・ライフ・バランス推進の基本方向」に基づき、幅広い世代に対する意識啓発に取り組みたい。

**問** 地域企業への意識啓発や取り組みへの支援についての具体的な考えは。

**答** 国や東京都などと連携しながら、他市などの取り組み動向も含め、研究していきたい。

**問** 市の施策の視点として、全体的・包括的にどのように考えるか。

**答** 企業の後押しができるような政策に取り組み、仕事と生活の好循環が生ま

**答** 沿道の権利者の方々と協議を進め、駅前におさわしい道路整備を目指す。

**問** 北側の市道第三号線の一部未整備箇所、その後の進展は。

**答** 周辺整備の動向を踏まえた中で、本道路の整備内容について、具体的な方策を検討していく。

**問** 都道よみうりランド線を含めた周辺整備について、市の見解は。

**答** 三沢川から京王相模原線までの約百八十メートルは、工事着手の準備が進んでいる。生活道路整備は、地区計画制度を活用する中で、検討していく。

**問** その他、消防行政、公共施設の分煙)



京王よみうりランド駅前

**障害者の農業への就労は**  
佐脇議員

**問** 農業者の方々と話し合いをもつことは。

**答** 農業者と稲城市障害者就労支援センターが話し合える環境づくりを提供したい。

**問** 地域の中で農業ができる可能性を大きくむ方向性についての市の見解は。

**答** 第一段階として、ゆう芳の里での農業体験、第二段階として、農家での実習を考えており、最終目標である農家での一般就労などにつなげたい。今後、関係機関と連携をとり、協力をお願いしていきたい。

**問** その他、後発医薬品の安さ通知事業、予算をかけたない雑誌コーナーの充実、親子健康手帳での父親の育児参加の促進、介護支援ボランティア、福祉施設との

体的な取組み方法は。

**答** 現在、図書館で所蔵している関連資料を点検、リスト資料を作成し、利用者が気軽に調べることができるようしていく。

**問** 各文化センター内の図書館についても同様と考えるが見解は。

**答** 裁判員制度の情報提供については、図書館分館においても小規模にはなるが取り組んでいく。

**問** その他、稲城市で広告入りの封筒を使用すること、太陽熱の利用拡大、公共下水道事業、各種相談窓口が一目でわかる一覧の看板を市役所の入り口に設置すること)

災害時の協定、七十五歳以上の市民の脳ドッグ助成、がん手帳の配付、野沢温泉村の宿泊助成、ノーテレビデーの推進)

**「緊急地震速報」の活用は**  
岩佐議員

**問** 緊急地震速報への評価は。

**答** 地震に対し、事前に必要な行動をとることができ、災害死傷者の軽減などに有効である。

**問** 市内の公共施設での対応は。

**答** 市民への早急な啓発と市内全域への普及は。

**問** 防災訓練や自主防災組織本部長会議などで普及啓発に努める。

**問** その他、ファミリー農園事業の今後、防災行政無線の夕方チャイム)

の有無、駐車場、放水場所などを考慮して選定しているが、なかなか適地がない。

**問** 特典を設定して、消防団員を増やす対策を講じるべきでは。

**答** 特典の設定は難しいが、募集・広報活動の強化を図り、団員確保に努めるとともに、福利厚生事業や資格取得支援事業の更なる充実を図る。

**問** その他、財政、原動機付自転車、二段階右折の際の待避所設置、多摩産木材の市内施設への使用)

**問** 現場の情報収集の現状は。

**答** 事例にかかわった職員がレポートを作成・提出し、ミーティングでも報告し、対応策を検討している。

**問** 事例が上位を占め、発生件数は病棟・部署で異なる。

**問** 今後の医療事故防止対策は。

**答** 患者認証システム導入での患者間違い防止、転倒・転落防止のため離床センサー・低床ベッドの導入推進、輸液ポンプ等取り扱

いミスのないよう、機器の統一を図っている。

**問** その他、教員免許更新制)

査では、各項目とも、環境基準値内であり、現段階における住民への健康被害の恐れはないと認識している。

**問** 区域西側で測量などを行っているが、新たな問題などは発生しないか。

**答** 現在、UR都市再生機構が業務施設などの用地として造成工事を行っている。造成工事着手の際には、近隣住民に対し、説明会などを実施したが、施設などの建設の際には、改めて事業者による説明などを十分行うよう指導していく。

**問** その他、公害苦情の現状と対策)

以外に市立病院や福祉センター、グリーンウェルネス財団などでも雇用できるのではない。

**問** チャレンジ実習での技能や能力の検証と市内の障害者作業所や障害者団体などの意見・希望を聞いて最終的に判断する。

**問** その他、小中学校教育のさらなる充実、鶴川街道の歩車共存道路整備、山崎通りの交通安全対策)

**問** 今後の教育行政の進め方は

田中議員

**問** 教育委員会として、どのような教育目標を掲げ義務教育を中心とした教育行政を進めていくのか。

**答** 平成十七年度は千八百八十八件、平成十八年度は千二百六十五件、平成十九年度は千八百四十件である。注射・点滴の事例、転倒・転落の事例、与薬・内服の

尾根幹線百村川北下地区の開通後の諸課題の改善は

富永議員

**問** 地下歩道における漏水、流出砂の改善対策は。

**答** 施行者である東京都において十一月末までに通路内にU形溝を整備するなど、改善に向けた工事を行う予定である。

**問** 測定地点から十数メートル以内のより低い所の住民の健康被害は。

**答** 環境省が発行する環境大気常時監視マニュアルにより測定された大気質調

公共施設での知的障害者雇用を

大久保議員

**問** 公共施設で知的障害者を雇用するべきであると考えるが、現状と課題は。

**答** 本年七月より、知的障害者の希望者を対象にチャレンジ実習として、市役所の文書リサイクル作業を月二回程度実施している。

今後は、知的障害者の可能な作業や業務量、有効な支援方法について、チャレンジ実習の検証結果や近隣市の雇用状況・実施方法を参考に、整理する。

**問** チャレンジ実習後は市で雇用するのか、一般就労につながるのか、市庁舎

倒・転落防止のため離床センサー・低床ベッドの導入推進、輸液ポンプ等取り扱

いミスのないよう、機器の統一を図っている。

査では、各項目とも、環境基準値内であり、現段階における住民への健康被害の恐れはないと認識している。

現在、UR都市再生機構が業務施設などの用地として造成工事を行っている。造成工事着手の際には、近隣住民に対し、説明会などを実施したが、施設などの建設の際には、改めて事業者による説明などを十分行うよう指導していく。

以外に市立病院や福祉センター、グリーンウェルネス財団などでも雇用できるのではない。

**問** チャレンジ実習での技能や能力の検証と市内の障害者作業所や障害者団体などの意見・希望を聞いて最終的に判断する。

**問** その他、小中学校教育のさらなる充実、鶴川街道の歩車共存道路整備、山崎通りの交通安全対策)

**問** 今後の教育行政の進め方は

田中議員

**問** 教育委員会として、どのような教育目標を掲げ義務教育を中心とした教育行政を進めていくのか。

# 市民生活の向上

## 介護保険の改善は 岡田議員

問 第四期介護保険事業計画の策定の取り組み状況と介護サービスの充実に向けた市の基本姿勢は。

答 取り組み状況は、現場視察、将来推計、実績の把握、そして現状と課題の整理を行った。充実に向けた基本姿勢は、六項目の基本理念と十四項目の基本原則を定め、着実に実施して行きたい。

問 国の国庫補助の引き上げを求めることや、基金

の活用などにより保険料を抑える考えは。

答 各保険者に対し、給付費の二十五パーセントを確実に配分し、調整交付金は別枠化することが必要と考えており、引き続き国へ強く要望していく。基金は、財政安定化のために積み立て又は、取り崩しを行う。

問 介護の人材確保に向け、国に介護報酬の引上げを求める考えは。

答 適切な人材確保が必要と考え、新たな仕組みの創設を国に要望していく。

問 後期高齢者医療制度、小・中学生の医療費無料化、少人数学級の早期

## 住民基本台帳カードは 見直すべきでは 藤井議員

問 現在の発行枚数は。答 二千五百四十六枚である。

問 今年度のこの制度の予算全体額と執行済み額はいくらか。答 予算は歳入が発行手数料二十五万円、歳出がカード購入など需要費約百六十万円とカード発行機賃借

料及び保守委託料約八十万円の合計約二百四十万円。収入済額は発行手数料約九万円、支出済額はカード購入費約百五十万円とカード発行機関係経費約二十四万円の合計百七十四万円である。

問 今後の対応は。答 今後の課題。証明書の自動交付機、印鑑登録証、図書カードなどに利用している他自治体の事例もあり、今後引き続き研究していく。

問 多目的利用を進めることが今後の課題。証明書の自動交付機、印鑑登録証、図書カードなどに利用している他自治体の事例もあり、今後引き続き研究していく。



住民基本台帳カード（顔写真付き）の例

問 お見舞いメールを受け付けの考えは。

答 本年六月からすべての病室にインターネットができるテレビが入り、メールが可能なようになったので、お見舞いメールには取り組んでいない。

## 市立病院に お見舞いメールと MRSA検査の 導入を 伊藤(ち)議員

問 課題については二一対対応にとまることなく市民に公表し、討議し、子供が可能なため、お見舞いメールには取り組んでいない。

問 入院患者には、MRSA検査をすべきでは。答 現在の医療保険制度では、感染が疑われる場合のみ検査が可能であるので、導入は考えていない。

問 高齢者や子供など、免疫力の弱い方にはMRSA検査をすべきでは。答 A検査をすべきでは。症状があらわれた場合と新生児には検査をしている。

## 障害がある人も 暮らせるまちを 藤原議員

問 障害福祉計画の内容など進捗と課題は。答 相次ぐ負担軽減策導入などでサービス利用は順調に伸びている。今後は、サービスを提供できる事業

所確保が課題となる。問 就労支援の取り組みと今後は。答 現在は、ハローワークや企業への面接・実習への同行、職場関係の不安解消や生活リズムの調整などの相談支援が中心だが、今後は、障害者を雇用する企業や、実習ができる企業の開拓を充実する。

問 自立支援協議会の拡充を。答 障害当事者の意見が反映され、地域の課題解決に向け取り組むことができよう。知的障害者団体連絡協議会や個別支援会議などの地域ネットワークとの連携強化を図る。

問 障害福祉計画の内容など進捗と課題は。答 相次ぐ負担軽減策導入などでサービス利用は順調に伸びている。今後は、サービスを提供できる事業

問 自立支援協議会の拡充を。答 障害当事者の意見が反映され、地域の課題解決に向け取り組むことができよう。知的障害者団体連絡協議会や個別支援会議などの地域ネットワークとの連携強化を図る。

問 自立支援協議会の拡充を。答 障害当事者の意見が反映され、地域の課題解決に向け取り組むことができよう。知的障害者団体連絡協議会や個別支援会議などの地域ネットワークとの連携強化を図る。

## 独自の 地球温暖化 対策は 多羅尾議員

問 太陽熱温水器・住宅用太陽電池パネルの設置補助は。答 東京都では、「太陽エネルギー利用拡大プロジェクト」に基づき、平成二十一年から二年間に、年二

問 温暖化対策推進計画やCO2発生抑制の目標設置の具体的取り組みは。答 東京都六十二市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において、温室効果ガス排出量の算定手法の共有化の

問 生ごみ堆肥化の研究の推進は。答 コンポスターや電動生ごみ処理容器の購入助成を行い累計で約千基の処理容器が普及している。今後

## 特別支援教育・ 副籍制度の充実を 門島議員

問 副籍の考え方と今後の取り組みは。

答 制度導入で直接的な交流に加え間接的な交流も可能となり、交流の機会や幅がより広がった。今後は在籍校の実態や地域指定校の状況を踏まえ、児童や生徒、保護者、校長、行政など相互の連携を密にし、組

問 副籍実施要綱を作成してほしいが。答 現在、稲城市特別支援教育副籍事業実施要綱を最終点検している。終了次第、十月から各校に提示し、充実した交流を進める。

問 評価・検証の在り方と子ども・市民参画は。

問 評価・検証の在り方と子ども・市民参画は。

問 評価・検証の在り方と子ども・市民参画は。

問 評価・検証の在り方と子ども・市民参画は。

平成20年第3回定例会での審議結果（平成20年9月1日～9月22日）

Table with columns for 議員名 (Party: 公明党, チェンジ21, 新政会, 日本共産党, 民主党, 市民自治を前進させる会, 無所属), 議案等の名称, 議決結果, 賛成, 反対.

稲城市議会議員 法定上限数30人 条例定数22人 現員22人

なお、一般会計・特別会計（国民健康保険事業、土地区画整理事業、下水道事業、老人保健、介護保険、受託水道事業）・病院事業会計の八会計決算は、決算特別委員会に付託の上、閉会中の継続審査といたしました。

☐ = 可決 ☐ = 同意 ○ = 賛成 × = 反対 欠 = 欠席 議 = 議長

意見書

市議会は第三回定例会の九月二十二日の本会議で、議員から提出された意見書を審議し、原案のとおり可決いたしました。可決した意見書は早速、各関係機関に送付し、要請しています。

陳情の結果

採 択 「在日外国人の無年金高齢者及び無年金障害者に対する救済処置」に関する陳情 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採 択を求める陳情

市議会の総務委員会は、市政に反映することを目的に、所管事務調査事項について先進都市の調査を行っています。実施内容は次のとおりです。

視察日 平成二十年十月二十日～二十二日 視察地及び調査事項 ・北海道旭川市 ・北海道ニセコ町 ・北海道北広島市

調査概要 旭川市 旭川市市民参加推進条例について 旭川市は「市民主体のまちづくり」を市政運営の基本に掲げており、市民参加に「ルール」がなかったため、提案の方法がはつきりしていなかった。

調査概要 北広島市 図書館フィールドネットにおける市民参加について 市民参加・ボランティア機能の拡充を目指して「図書館フィールドネット」の樹立と支援を行っております。

調査概要 ニセコ町 ニセコ町まちづくり基本条例について 平成十二年に「自治」の「基本」となる「自治基本

条例」の概念を持った「まちづくり基本条例」を制定しました。この条例は、二つの大原則を定め、運用しております。

「情報共有」 原則として、まちづくりは、町民が情報を共有することを基本に進める。

「住民参加」 原則として、町の仕事の企画立案、実施及び評価の過程において町民の参加を保障する。として、文書管理システムの導入、分かりやすい予算説明書の作成と全戸配付など様々な施策を

実践しております。



総務委員会